

訪問団は十月二六日、名古屋に到着した。
(文責・朴洋子勸士)

韓国の中高校生が名古屋教会訪問

大田の龍田教会の中高校生27名招請し交流

八月四日から八日にわたって、韓国大田の龍田教会(大韓イエス教長老会統合)から、二七人の中高生交流団が名古屋教会を訪問した。これは昨年からはじめた両教会の中高校生交流プログラムの第二回目として、昨年大田を訪問した名古屋教会側が、今回は龍田教会の中高校生たちを名古屋に招請したものである。

一行は四日の午後、関西空港に到着、奈良の法隆寺を見学したのち、名古屋教会の中高校生たちと合流し、翌五日、東大寺を見学後、交流団は京都に向かい、金閣寺、竜安寺、清水寺を視察した。これらの見学地は日本古来の伝統文化を十分に満喫すると同時に、かつて朝鮮半島から日本に渡り文化の基盤形成に貢献した渡来人たちの息吹を感じてほしいという、両国の中高校生に対するはからいから選ばれたものである。

名古屋に到着し、ホームステイ先の家庭で一泊を過ごし、翌六日、名古屋教会の主日中高生礼拝および主日合同礼拝に参席し、楽しい交わりの時を持った。翌七日、両教会の中高校生たちは、川崎航空機の地下工場として掘られた戸狩地、下塚、壮大なスケールが当時の労働の過酷さを物語る丸山ダムなど、岐阜県に点在する朝鮮人・中国人強制労働跡地を訪れた。中でも圧巻だったのは、可児市に位置する久々利地下壕だ。三菱航空機第四製作所の移転先となるはずだったこの地下壕は、未完成のまま敗戦を迎え、現在でも当時の面影をそのままたたえ、トンネルである。交流団の一行は、懐中電灯片手にこの洞窟の奥深くまで立ち入り、強制労働の過酷さを

危険さを身をもって実感した。

翌日、龍田教会交流団は名古屋教会が母体である特別養護老人ホーム、永生苑を訪見し、名古屋市内でのショッピング後、帰路に就いた。

この交流プログラムによつて一年ぶりに再会を果たした両教会の中高校生たちは、言葉の壁や考え方の違いをものともせず、終始親密な交わりを持っていた。

主にあつて出会う中高生たちの交わりの中に、既存の本国交流とは違う、わだかまりのない親密さを見つけた。本国の人々と在日の新たな出会いのスタイルが生まれつつあることを学ばされた五日間であった。

(文責・許伯基伝道師)

第八回外登法問題 国際シンポジウム共同宣言

歴史の転換点ともいえる二〇〇〇年秋。私たちは韓国忠清南道牙山において第八回外登法問題国際シンポジウムを開催した。「新ミレニアムを共に生きるアジアのキリスト教界」をテーマに掲げ、七十人の参加者が二一世紀の日・韓・在日教会の共同課題と連帯の道を求めて協議した。

今回のシンポジウムは、韓国基督教協議会人権委員会、韓国教会在日同胞人権宣教師協議会、日本キリスト教協議会在日外国人の人権委員会、外登法問題として歩んできた。こうした外登法の抜本的改正を求める国際的な運動の広がりが、今回のテーマに示され、二一世紀の

問題キリスト教連合会(日本)、そしてアジアキリスト教協議会の協力によって開催された。

一九九〇年に第一回外登法問題国際シンポジウムを開催して以来十一年、私たちは日・韓・在日教会は、日本の外登法の抜本的改正を共同テーマとして掲げつつ、同時にそれぞれの教会の課題を確認し、歴史認識の共有、日本の戦争責任の明確化と戦後補償の実現、歴史教育の推進、移住労働者の人権獲得を共同課題として歩んできた。こうした外登法の抜本的改正を求める国際的な運動の広がりが、今回のテーマに示され、二一世紀の

関東地方女性連合会第6回歴史探訪

渡来人の軌跡学ぶ

アジア歴史学会員の朴昌憲先生講師に

十月二六日、関東地方女性連合会主催による「第六回歴史探訪」が開催された。その目的は、当時「婦人」の地位が低く、再建した



化人」とも呼ばれた韓半島からの渡来族集団によつて東京周辺に残された日本神道と仏教の伝来の足跡と物語をたどることにある。当日は天気にも恵まれ、総参加人数は三六名にのぼり、アジア歴史学会員で評論家の朴昌憲先生を講師に招き、充実した内容で意義のあるものとなった。

訪れたのは四箇所。日本の三大祭のひとつであり、韓半島渡来神三を祭る「三神祭」で世界的に有名な浅草神社、百済の秘伝を納め、巨大な赤提灯の雷門を構える浅草寺、白髭とは新羅からの転訛とも言われる渡来神を祭った白髭神社、皇居内にある江戸城の正門で、江戸の六割が焼失した一六五七年の振袖の火事の際に焼失し、再建した

たされおり、国家を越えて東北アジアを、アジア全域へと広がりゆく平和と共生のための民衆のネットワークを創りあげること、新たな課題として託されている。そのために、私たちキリスト者一人ひとりが偏狭なナショナリズムや外国人に対する偏見から解放され、共に生き、共に生かされ、共に生かすことを目指さなければならない。

今年六月、朝鮮半島では劇的な「南北首脳会談」が実現し、離散家族の再会、シドニーオリンピック開会式での合同入場、朝米首脳会談など、和解と統一へと向かっている。今日の日朝外交交渉では、一九六五年の日韓条約と同じ経済的補償によつて終えるのではなく、日本の根本的な謝罪と賠償による過去の清算と、在日韓国・朝鮮人の法的地位の確立がなされなければならない。

十月二六日、関東地方女性連合会主催による「第六回歴史探訪」が開催された。その目的は、当時「婦人」の地位が低く、再建した

関東地方会クリスマス

イエス 来ます クリスマス
—あなたと祝う—

日時: 2000年12月3日(主)午後4時
場所: 在日大韓基督教会東京教会
メッセージ: 李根秀牧師(横浜)
主催: 在日大韓基督教会関東地方会
クリスマス準備実行委員会
協賛: 関東地方会青年部・教育部・婦女部
後援: 関東地方会長老会・女性会

韓国家庭料理

高馬宇

代表取締役 金元洙
(東京中央教会長老)

本店 〒105-0004 東京都港区新橋3-18-4
TEL 03 (3431) 3921, 03 (3435) 7809
FAX 03 (3435) 0706

株式会社 ニューキング 有限会社 三 愛

取締役社長 李鍾善
(名古屋教会 長老)

ニューキング 四日市市野田1丁目965-1
TEL (0593) 31-4771(代)
三 愛 岡崎市大和町字荒田14-1
TEL (0564) 31-8893(代)